

貯法：室温保存
使用期限：外箱に記載の使用期限内に使用してください。
注意：取扱い上の注意の項参照

承認番号	(61AM)4026
薬価収載	1986年10月
販売開始	1986年10月

商品番号 NC15

漢方製剤
コタロー
黄連解毒湯 エキスカプセル
おう れん げ どく とう

〔組成・性状〕

*(1)組成

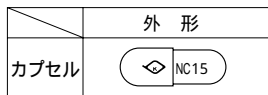
本剤6カプセル中
日局 オウレン.....1.5g
日局 オウバク.....1.5g
日局 オウゴン.....3.0g
日局 サンシシ.....2.0g

上記の混合生薬より抽出した黄連解毒湯の水製乾燥エキス1800mgを含有する。

添加物としてカルメロースカルシウム、軽質無水ケイ酸、結晶セルロース、合成ケイ酸アルミニウム、ステアリン酸マグネシウム、トウモロコシデンプン、ヒドロキシプロピルスターチ、メタケイ酸アルミン酸マグネシウム、カプセル本体に青色1号、黄色5号、酸化チタン、ゼラチン、ラウリル硫酸ナトリウムを含有する。

(2)製剤の性状

本剤はキャップが淡橙色不透明、ボディはベージュ色不透明の1号硬カプセル剤である。内容物は黄褐色の粉末で、特異なおいがあり、味は苦い。



識別コード：NC15

〔効能・効果〕

比較的体力があり、のぼせがみで顔色赤く、いらいらする傾向のある次の諸症：
胃炎、二日酔、めまい、動悸、ノイローゼ、不眠症、血の道症、鼻出血。

〔用法・用量〕

通常、成人1日6カプセル(2.16g)を2~3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。
なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

〔使用上の注意〕

- (1)慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)
著しく体力の衰えている患者〔副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。〕
- (2)重要な基本的注意
- 1)本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
 - 2)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。
- (3)副作用
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。
- 1)重大な副作用
間質性肺炎：発熱、咳嗽、呼吸困難、肺音の異常(捻髪音)等があらわれた場合には、本剤の投与を中止し、速やかに胸部X線等の検査を実施するとともに副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。また、発熱、咳嗽、呼吸困難等があらわれた場合には、本剤の服用を中止し、ただちに連絡するよう患者に対し注意を行うこと。

- * 肝機能障害、黄疸：AST(GOT)、ALT(GPT)、ALP、γ-GTPの著しい上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。
- 2)その他の副作用
過敏症：発疹、蕁麻疹等があらわれることがあるので、このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。
消化器：食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹痛、下痢等があらわれることがある。
- (4)高齢者への投与
一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。
- (5)妊婦、産婦、授乳婦等への投与
妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上まわると判断される場合にのみ投与すること。
- (6)小児等への投与
小児等に対する安全性は確立していない。〔使用経験が少ない。〕
- (7)適用上の注意
薬剤交付時：
PTP包装の薬剤はPTPシートから取り出して服用するよう指導すること。〔PTPシートの誤飲により、硬い鋭角部が食道粘膜へ刺入し、更には穿孔をおこして縦隔洞炎等の重篤な合併症を併発することが報告されている。〕

〔取扱い上の注意〕

漢方製剤は吸湿しやすいので、湿気を避け、直射日光の当たらない涼しい場所に保管してください。
特に、開封後は湿気、温度に注意を払ってください。

〔包装〕

コタロー黄連解毒湯エキスカプセル
PTP 300カプセル
600カプセル
ポリ瓶 450カプセル

〔資料請求先〕

小太郎漢方製薬株式会社 医薬事業部
〒531-0071
大阪市北区中津2丁目5番23号

製造発売元



小太郎漢方製薬株式会社
大阪市北区中津2丁目5番23号